

「なごや東山の森づくりの会」 定例会報告 くらしの森(平和公園南)

日 時： 2010年4月4日(日) 10:00~15:00 天候：晴れ
 活動場所： 平和公園南オタマジャクシ池付近
 活動内容： オタマジャクシ池上部の竹の手入れ、アヤメの移植、キショウブの駆除、ミモザの保護
 集合場所： 里山の家
 参加者： 会員・・・40名(内子ども5名)、一般・・・2名、FX社員・・・11名(内子ども3名)
 計 53名 (注;FX社は企業会員ではありません)

○日曜日、久々のポカポカ陽気、さくら満開!絶好のお花見日和。くらしの森にも老若男女が繰り出し今年一番のにぎわいです。作業に先立ち、鬼頭さんが竹の知識、作業ガイダンスを、続いて総合公園事務所の新しい窓口となられた猪俣さんのご挨拶、公園協会柿本さんから新刊なった「東山の森ガイドブック」(当会が製作協力)の紹介、などあり、早速、中道横のオタマジャクシ池周辺などで53名が新年度初の定例活動に入りました。

○オタマジャクシ池上部一帯は、スホウチク、シホウチク、スズコナリヒラなどが、手入れが遠のいていたため密生し放題(スホウチク)、広がり放題(スズコナリヒラ)で、これを間伐、ササ刈り取って、ミモザやツツジなどを保護するのが目的です。

また、カエル池周辺の外来種キショウブの除去や、里エリア工事で避難させたアヤメを元の中道コブシ付近に移植したりと多種に亘っての活動でした。

○池ではオタマジャクシが泳ぎ回り、掘り起こしたキショウブの根っこ近くにはヒメタイコウチの兄妹?が、長い眠りを邪魔されたとバチを振りかぶる、本日のハイライトは2メートルはあると思われるアオダイショウ君、騒々しいなと顔を出します、生きとし生けるもの春が来たことを実感している様子でした。一部やり残しましたが予定の時間となったので3時にはみな帰宅の途に就きました。



キショウブを駆除したあとに小さなせせらぎが出現(左)



炭焼き準備班も活動中です(右)



アオダイショウはトンボ池の主(ヌシ)?

ヒメタイコウチもお目覚めです

シュンランの花が可憐に美しく

キショウブは要注意外来生物

